

令和4年度 環境で地域を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む

✓

昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む

活動団体名：株式会社アズマ

→八女が好き 8C（やし）!!!

やめスマ研究所

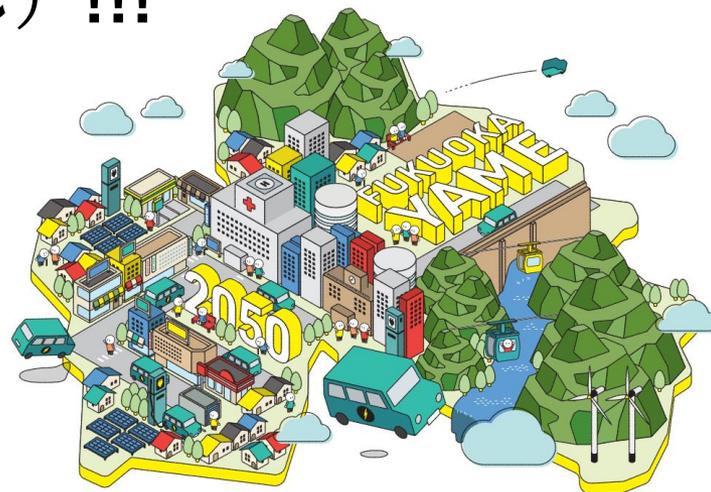
活動地域：福岡県 八女市

活動におけるテーマ

『強い田舎を創りたい』

～エネルギーの“地消地産”でつくる地域内循環の仕組み～

やめスマ研究所
YAME CITY SMILE LAB



活動団体および活動地域の紹介

活動地域：福岡県 八女市

人口：6万926人
(2022年12月末時点)

自然：総面積の65%が森林
森林面積 315.25km²
総面積 482.44km²

農作物：お茶、筍、
いちご・なし・ぶどう等

伝統工芸：仏壇、提灯、
手すき和紙、石灯籠等



活動団体：(株)アズマ⇒やめスマ研究所 (2022年7月キックオフ)

やめ研究所
YAME CITY SMILE LAB

コアメンバー：(株)アズマ、やめエネルギー(株)、マーケティングミックス(株)
地域コーディネーター：横山 泰治 (一般社団法人サステナブルコミュニティ共創機構)
ステークホルダー：27団体





強い田舎を創りたい

自立的で持続可能な地域

エネルギーの地域内循環

当初の想い
(カントク)



じいじありがとう



強い田舎を創りたい



じいじありがとう

強い田舎を創りたい

2016年度年間消費電力量

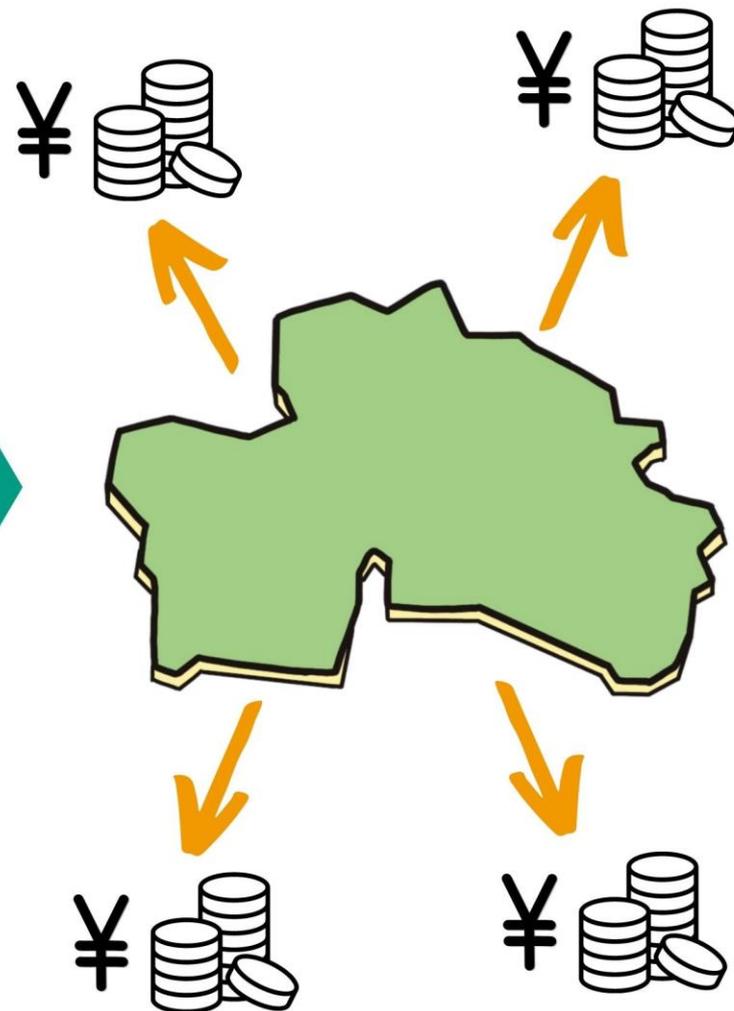


2億7千万 kWh

電気代に換算すると

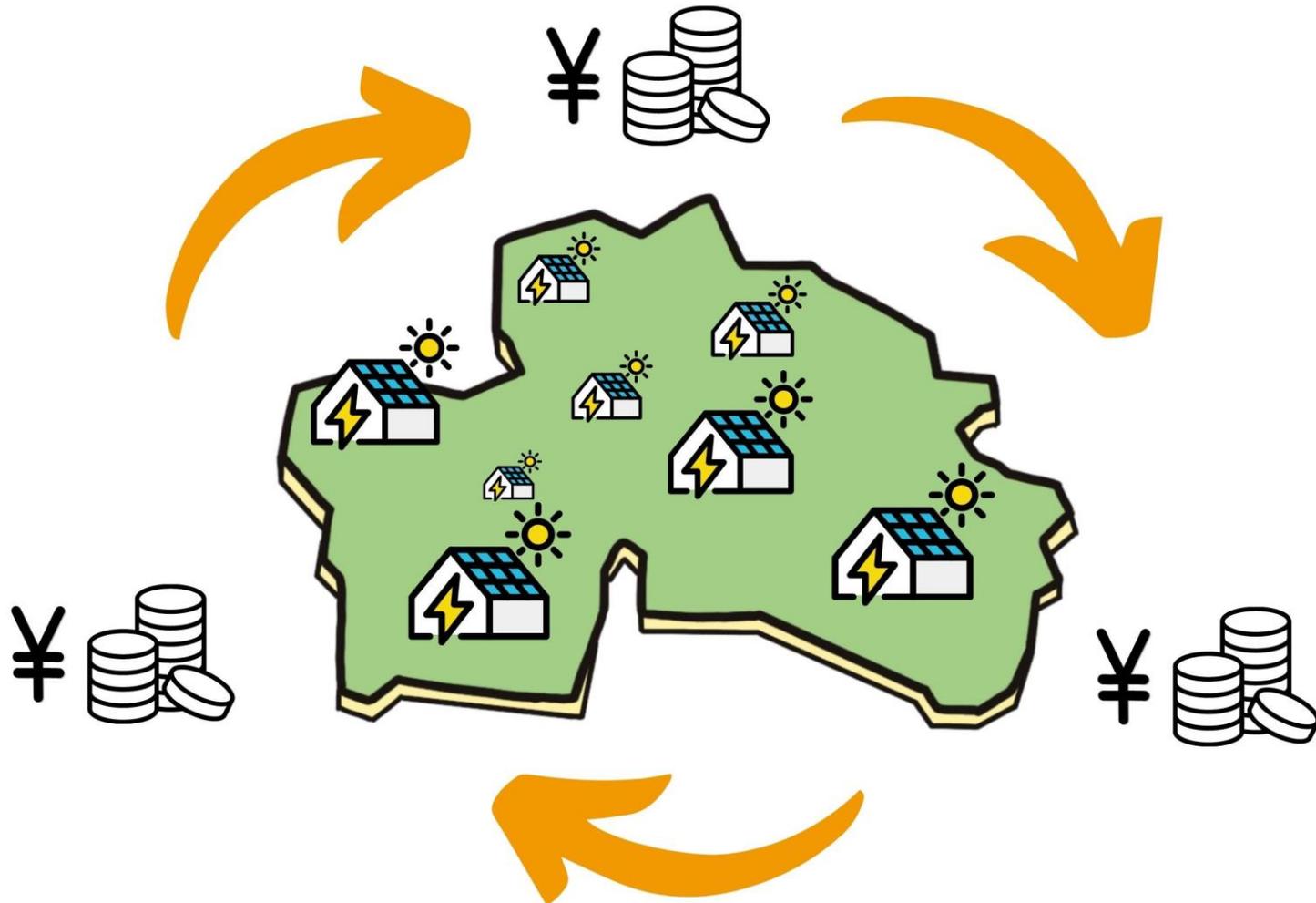
53億円/年

地域資金が域外へ流出



強い田舎を創りたい

エネルギーの地域内循環



取り組み①



2017年1月11日設立

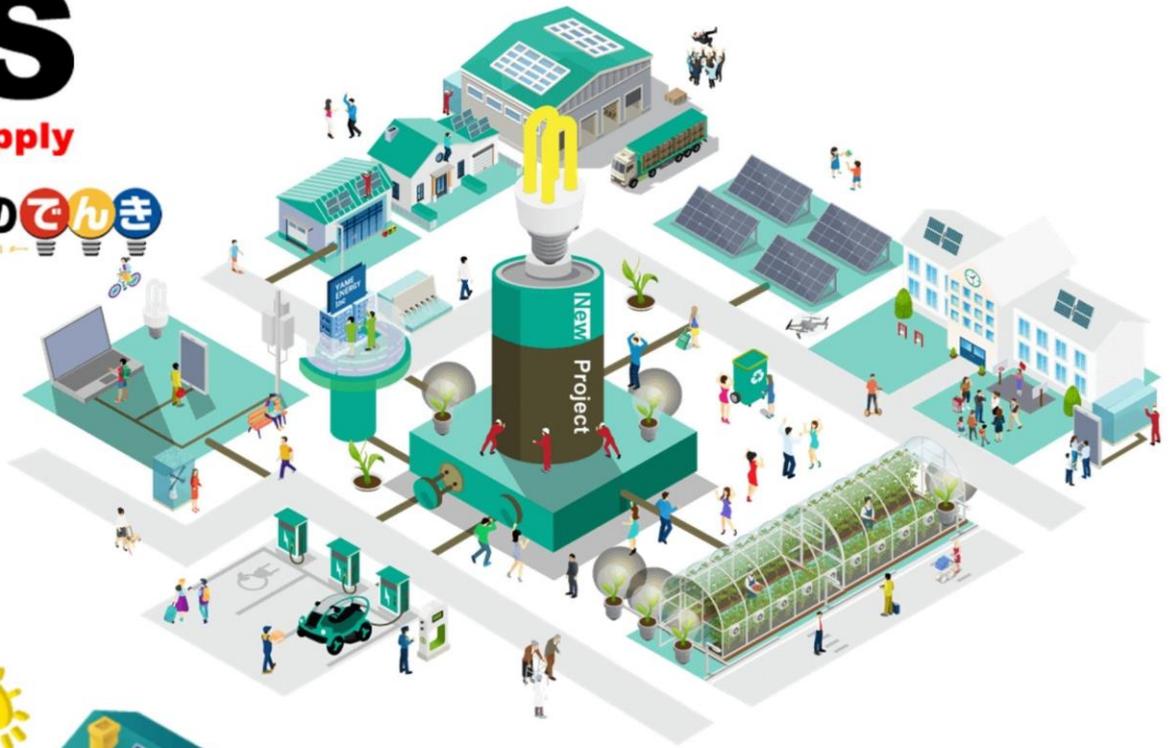
地元企業73社が出資



取り組み②

LED'S

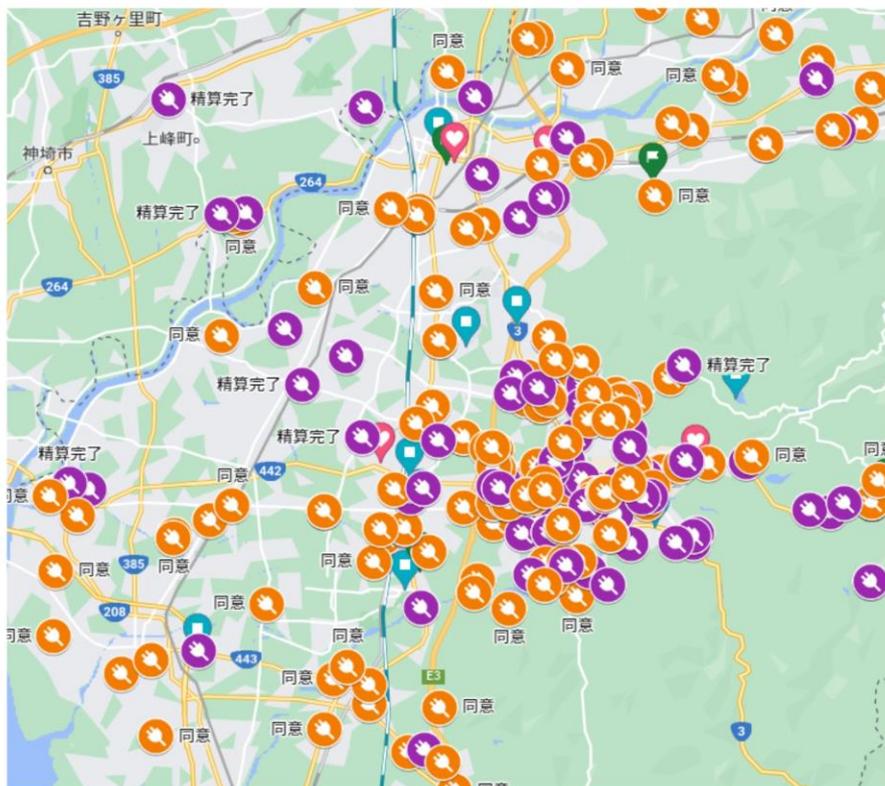
Local Energy Direct Supply



取り組み②

導入件数:116件
導入容量:1.4MW

※2023年1月末時点



2020年受賞



第8回

環境省グッドライフアワード



再エネ  **スタート**
はじめてみませんか 再エネ活用



地域課題

エネルギー資金
の流失

地域の現状

地域課題の解決

若者の域外流出

理想の地域の姿

強い田舎

移動が不便

担い手不足

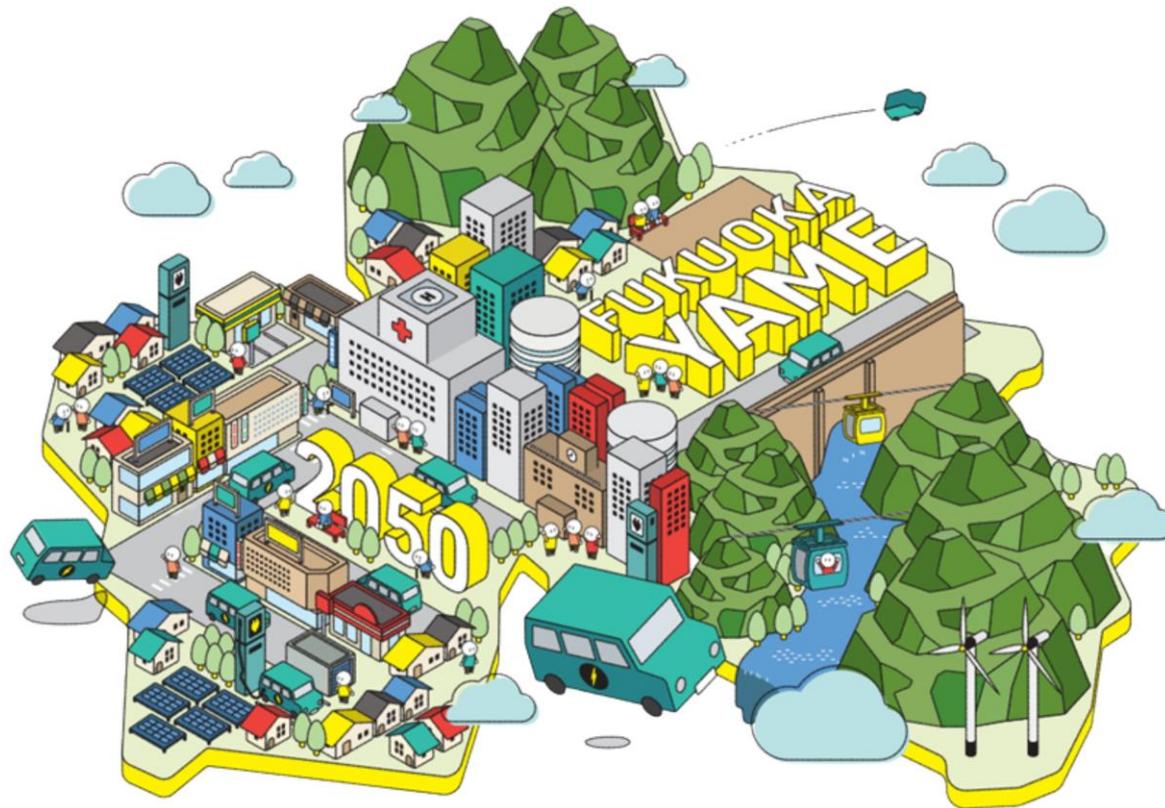
地域には沢山の課題が存在している

強い田舎を創りたい

じいじありがとう

踏み出すのが怖い…

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------------|----|-------------------|----|---------------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------|------------------------------|---|
| 事業全体の予定 | | 全国キックオフ ミーティング | | 八女キックオフ ミーティング | | | 九州ブロック 中間共有会 | | | | | 全国 成果共有会 八女版 マンダラ共有会 |
| ワークショップ | | | | ◆第1回ワークショップ 「2030SDGs」 | ◆第2回ワークショップ 「コミュニケーション体験」 | ◆第3回ワークショップ 「SDGs de 地方創生」 | ◆第4回ワークショップ 「2030SDGs」 | ◆第5回ワークショップ 「コミュニケーション体験」 | ◆第6回ワークショップ 「SDGs de 地方創生」 | ◆第7回ワークショップ 「2030SDGs」 | ◆第8回ワークショップ 「コミュニケーション体験」 | ◆第9回ワークショップ 「SDGs de 地方創生」 ※3月11日開催予定 |
| ステークホルダー ミーティング | | | | | | | ◆第1回 ステークホルダーMTG | ◆第2回 ステークホルダーMTG | ◆第3回 ステークホルダーMTG | ◆第4回 ステークホルダーMTG | ◆第5回 ステークホルダーMTG | ◆第6回 ステークホルダーMTG |

1. ワークショップ（計9回実施）

内容：3つのワークショップを1か月単位のローテーションで合計9回実施

成果：理想の地域の姿・地域の現状を考えるきっかけができた

思いに共感頂いた方々にステークホルダーとして参画頂いた

2. ステークホルダーミーティング（計6回開催）

内容：思いに共感いただいた方々とステークホルダーミーティングを実施

成果：ワークショップで出た地域の方々の意見や思いをもとに地域課題の棚卸と事業のタネを発見し八女版マンダラを作成した

3. 地域内で自走できる体制の構築

成果：コアメンバーの2名が「2030 SDGs」のファシリテーションと「コミュニケーショングラフィッカー」の認定取得



現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

【現状の地域プラットフォーム】



【地域プラットフォームの変化】

・「“出入り自由！”だけ“否定”はしない。」というグランドルールのもと、今までの事業活動では繋がれていなかった地域住民、地域企業、団体、自治体の方々と「“八女が好き！”“八女をより良くしたい！”」という共通の想いでつながることが出来、それぞれのリソースを持ち寄り「理想の未来の八女の姿」を実現するために活動していくベースが構築できた

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

「地域の未来を考えるきっかけづくり」を目的に計9回ワークショップを実施

2030 SDGs

コミグラ体験

SDGs de 地方創生

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsワークショップ

SDGsから八女の未来を楽しく考える!

カードゲーム「2030 SDGs」

環境省 ローカル SDGs「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」採択事業

八女の未来って、明るいな。
～みんなのエネルギーで八女を楽しもう～

子どもから大人まで、SDGsの中身がカードゲームを通じて体験しよう!

カードゲーム「2030 SDGs」ってなに?!

SDGsの17の目標を達成するために、誰かから2030年までの道のりを体験するゲームです。
「なぜSDGsが私たちの暮らしに必要なのか?」そして「SDGsを達成することでどんな変化や可能性があるのか?」カードゲーム「2030 SDGs」を通じて一緒に体験しませんか?

- ✓これからSDGsを知りたい方
- ✓すでにSDGsを実践中の方
- ✓SDGsの裏側らしさを伝えたい方

親子での参加大歓迎! ※お子様は10歳以上より参加できます。

2022 **7.30** 土 13:30~16:30

参加費 **無料** 定額 **60**円

ファシリテーター **横山 泰治氏**
●一般社団法人サステナブル コミュニティ共同機構 代表理事
●2030 SDGs公認ファシリテーター

会場ではコロナ対策を行いイベントを開催しますが、各自感染防止にご協力の上ご来場ください。

受付・お問い合わせ TEL:080-8567-4621 担当:宮崎 悠輔

環境省ローカルSDGs「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」、実践地帯に採択・登録された株式会社アズマの取り組みの一環です。

SDGsワークショップ

～コミュニケーショングラフィック体験～

八女のミライを みんなで描こう

環境省 ローカル SDGs「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」採択事業

みんなでつくる、強い田舎づくり!

八女のミライってどんな未来? みんなでミライづくりを体験しよう!

「コミュニケーショングラフィック」ってなに?!

コミュニケーショングラフィックは、身近な「絵」や「文」を組み合わせながら、簡単な絵と簡単な文章を組み合わせて絵を作り、伝えたいことを表現することです。
子どもから大人まで、八女の暮らしの写真を参考に絵や文章で未来の田舎や、どんな八女の未来を望んでいるかをワークショップを通して自由に表現し、みんなの未来を思いあがる八女の未来を考えるきっかけとなります。

- ✓「八女のミライ」の家を形にする体験型イベント!
- ✓絵が苦手でも、文章がなくても問題ありません!
- ✓小さなお子さまから大人まで、だれでも楽しめる!

親子での参加大歓迎! ※お子様は10歳以上より参加できます。

2022 **8.27** 土 14:00~16:00

参加費 **無料** 定額 **60**円

会場 **八女文化会館 1F 多目的ホール**
〒834-0031 福岡県八女市本町 602-1

ファシリテーター **横山 泰治氏**
●一般社団法人サステナブル コミュニティ共同機構 代表理事
●2030 SDGs公認ファシリテーター

会場ではコロナ対策を行いイベントを開催しますが、各自感染防止にご協力の上ご来場ください。

受付・お問い合わせ TEL:080-8567-4621 担当:宮崎 悠輔

環境省ローカルSDGs「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」、実践地帯に採択・登録された株式会社アズマの取り組みの一環です。下記の内容が主催者となります。
株式会社アズマ / やまエネルギーズ株式会社 / マーケティングミックス株式会社 / やまSDGs実行委員会
※一緒に申請してくださる企業・団体も募集しております。
【協力】環境省 九州地方環境パートナーシップオフィス (後援) 八女市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第3回 SDGsワークショップ

カードゲーム「SDGs de 地方創生」

～八女で働くみんなが主役!～

環境省ローカル SDGs「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」採択事業

みんなでつくる、強い田舎づくり!

ワークショップを通じて、どのような役割でみんなが活躍できるか一緒に考えよう!

カードゲーム「SDGs de 地方創生」とは?!

「SDGs de 地方創生」とは、SDGsの考え方を地域の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について参加者全員で対話し、地域の未来を考えるためのゲームです。
SDGsの考え方を理解し、八女が抱える課題をSDGsを通じて適切な・体感的に感じながら具体的なアクションへとつなげていこう!

親子での参加大歓迎! ※お子様は10歳以上より参加できます。

2022 **9.21** 水 17:30~20:30

参加費 **無料** 定額 **60**円

会場 **八女文化会館 1F 多目的ホール**
〒834-0031 福岡県八女市本町 602-1

ファシリテーター **横山 泰治氏**
●一般社団法人サステナブル コミュニティ共同機構 代表理事
●2030 SDGs公認ファシリテーター

会場ではコロナ対策を行いイベントを開催しますが、各自感染防止にご協力の上ご来場ください。

受付・お問い合わせ TEL:080-8567-4621 担当:宮崎 悠輔

環境省ローカルSDGs「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」、実践地帯に採択・登録された株式会社アズマの取り組みの一環です。下記の内容が主催者となります。
株式会社アズマ / やまエネルギーズ株式会社 / マーケティングミックス株式会社 / やまSDGs実行委員会
※一緒に申請していただける企業・団体も募集しております。
【協力】環境省 九州地方環境パートナーシップオフィス (後援) 八女市

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

ワークショップの風景



地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

ワークショップの成果物



八女市報での掲載

広報 **八女** 2022 令和4年 10 No.1234

ふるさとの恵みと誇りを未来につなぐ
安心と成長のまち 八女

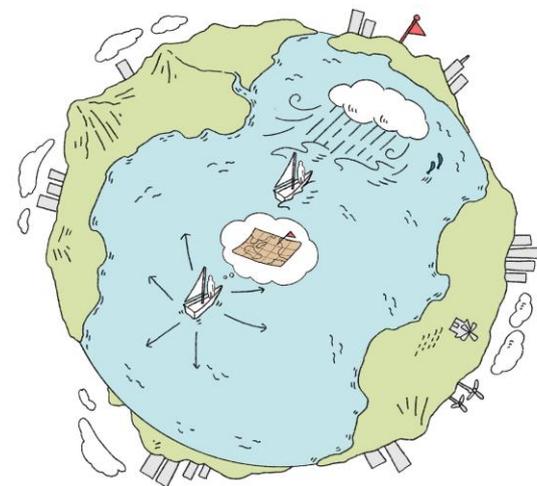
Public relations magazine of Yame City



市役所での掲示



八女に住む・関わる産学官民の 方々が集まり計6回の ステークホルダーミーティングを実施



ステークホルダー

- ・市役所
- ・森林組合
- ・JA
- ・ビルダー
- ・地域電力会社
- ・芸術家
- ・地域電力会社
- ・地方銀行
- ・自動車販売、整備店
- ・塗装屋
- ・お茶屋
- ・酒蔵
- ・大手私鉄
- ・仏壇屋
- ・社会福祉協議会
- ・リサイクル、ごみ処理事業者
- ・大学
- ・養鶏事業者
- ・イベント事業者

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

ステークホルダーMTGの様子



地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

ステークホルダーMTGで
出てきた地域課題

八女の魅力の認知不足

交通の便が悪い

人口減少

教育機会の不足

魅力的な仕事の不足

山間部の高齢化

若者の域外流出

地域課題

地域資金
の流失

地域インフラの
整備不足

地域の現状

地域課題の解決

理想の地域の姿

強い田舎

若者の
域外流出

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

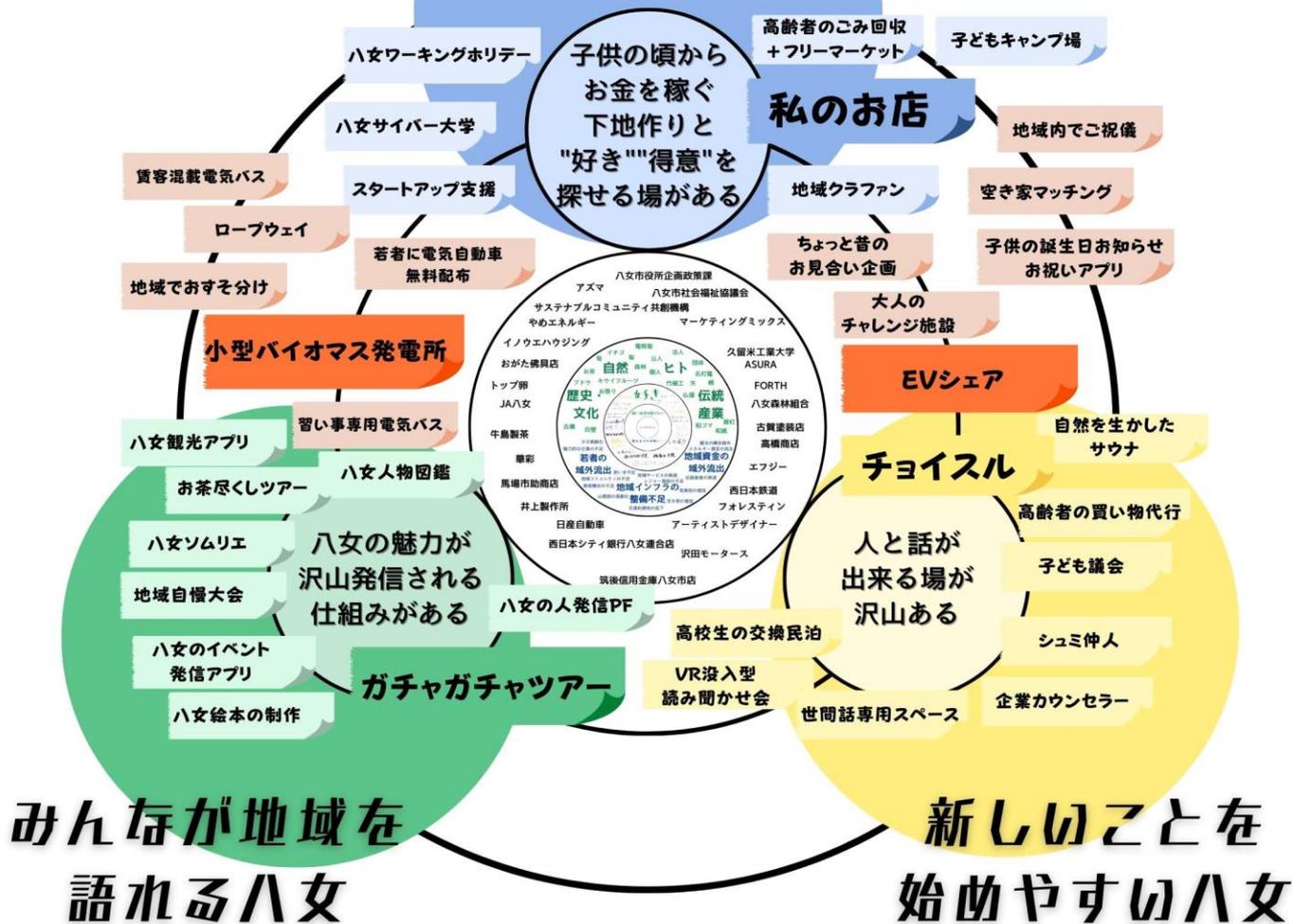


地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

2030年



魅力的な仕事が多く創出される八女



2050年 “ステキ”に“バケツツケル”八女

地域資源と共に在り、
輝く“ヒト”を育む八女

チャレンジを応援できる
“ヒト”を育む八女

地域経済をリードする
“ヒト”を育む八女

やめ研究所
YAME CITY SMILE LAB

やっぱり八女がよかー！



魅力的な仕事
数多く創出される八女



みんなが地域を
語る八女

新しいことを
始めやすい八女

取組を通しての成果と新たに見えてきた課題

1. 理想の八女の未来について考えるきっかけを作ることが出来た

◆3つのワークショップをローテーションで実施

→成果

- ・理想の八女の未来の共有、地域資源・地域課題の洗い出しが出来た
- ・PFの取り組みを八女市報で掲載して頂いた
- ・八女の方々と描いた理想の未来の姿を市役所に掲示させて頂いた



難しかったこと

- ・ワークショップへの動員

新たな課題

- ・成果を出せるPF活動を継続させるための活動費用の捻出
- ・地域の学生の巻き込み
- ・事務局機能の構築

来年度チャレンジしたいこと

- ・より広く意見を募るためのアンケート
- ・ワークショップを地域で自走できる体制の構築

2. 八女版マングラを作成できた

◆ステークホルダーミーティングの実施

→成果

- ・コア 이슈と理想の未来の姿の実現のための地域課題解決型の事業のタネを発見することが出来た
- ・やめスマ研究所の取り組みを福岡商工会議所の「SDGs fukuoka」に登録頂いた

SDGs fukuoka

難しかったこと

- ・ステークホルダーの巻き込み活動

新たな課題

- ・地域の学生の巻き込み
- ・事務局機能の構築

来年度チャレンジしたいこと

- ・事業化に向けた「事業のタネ」のブラッシュアップ
- ・より語れるマングラの作成

3. 取り組みを自走するための一歩目が踏み出せた

◆ワークショップのファシリテーターの認定にチャレンジ

→成果

- ・コアメンバーの2名が2つのワークショップのファシリテーターの認定を取得した

来年度チャレンジしたいこと

- ・地域内にワークショップのファシリテーターを増やしていく

活動における今後の展望

1. やめスマ研究所が自走可能な状態をつくる

- ・活動補助が無くなった後も地域に効果的にPFが残り続けるため、PFとして収益を上げられる仕組みとそれを実行する地域人材を育てていく

2. 事業化に向けた「事業のタネ」のブラッシュアップ

- ・沢山でた事業のタネを事業化できることを示すことで、今後地域で地域課題解決型の事業が創造されていく下地をつくっていく

3. 取り組みの地域間連携を目指していく（筑後7国）

- ・近隣自治体の1つがやめスマ研究所の活動を体験し、同事業に申請しようとする動きが発生した
- ・今後は地域間連携も視野に入れ、それぞれの地域特性を活かし共に「理想の未来の地域」を実現できる体制の構築を目指していきたい

活動における今後の展望

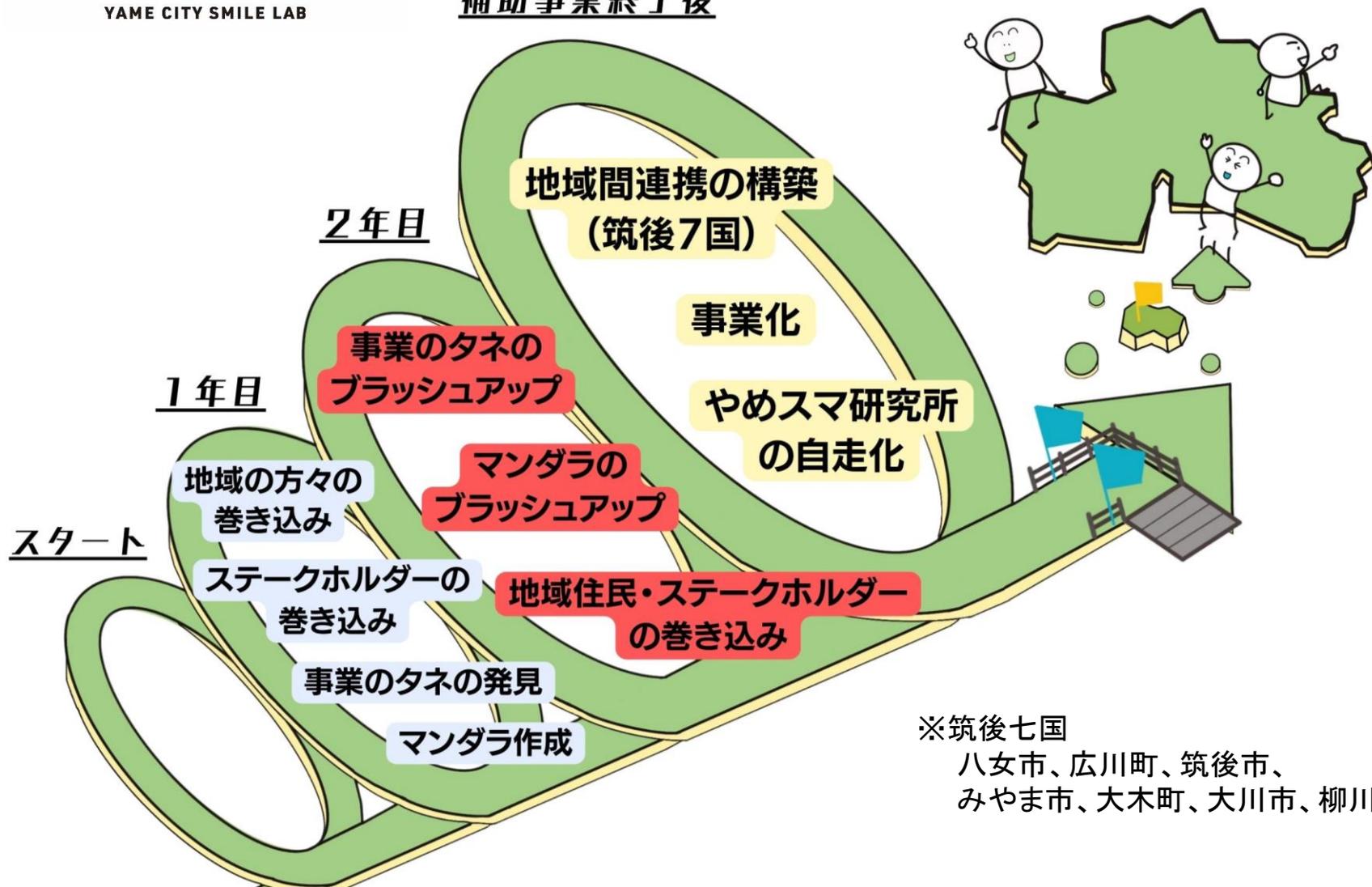
やめスマ研究所

YAME CITY SMILE LAB

補助事業終了後

理想の地域

“ステキ”に“バケツツケル”八女



※筑後七国

八女市、広川町、筑後市、
みやま市、大木町、大川市、柳川市